

Europe Indicators

発表日: 2021年5月12日(水)

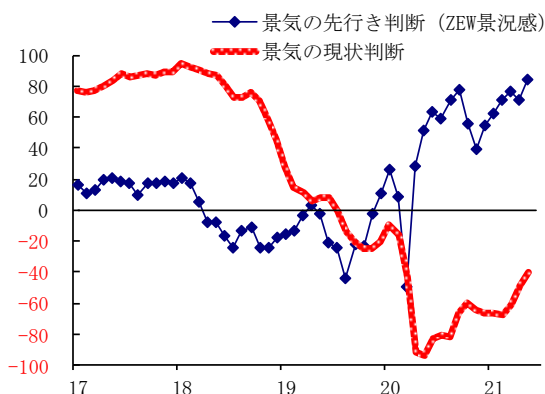
欧州経済指標コメント: 5月ドイツZEW景況感

～ワクチン接種の加速で先行きの景気回復期待が高まる～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

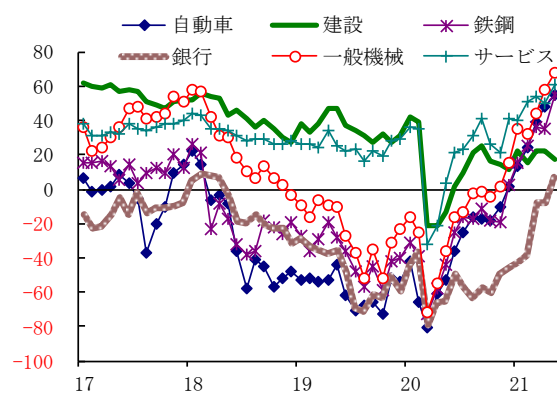
- 11日に発表された5月のドイツZEW景況感（金融市場参加者による半年先の景況感）は+84.4と前月の+70.7から大きく改善し、約20年振り（2000年2月の+85.5以来）の高水準を記録した。回答者の85.5%が先行きの業況改善を見込み、先行き悪化を見込むのは僅か1.1%にとどまった。同時に発表された景気の現状判断は▲40.1と3ヶ月連続で悪化モメンタムが縮小し、コロナ危機以前の水準には届かなかったが、昨年春の感染拡大後では最も軽微な落ち込みとなった。
- 調査票の回収期間は5月3日～10日。ドイツの主要株価指数が最高値圏でもみ合っていた時期と重なる。5月末までの行動制限解除が見通せないとの政府高官の発言も聞かれたが、ワクチン接種件数が大幅に加速しており、先行きの行動制限解除と景気回復期待が業況改善を支えた。秋の連邦議会選を控えた首相候補の発表を受け、各種の世論調査で環境政党・緑の党が保守系与党・CDUを逆転する結果が相次ぎ、財政拡張・規律緩和期待も業況改善を後押しした模様。
- 業種別の業況判断は、世界景気回復期待が続き、自動車、電機、一般機械、鉄鋼など輸出関連業種の改善モメンタムが一段と加速し、感染封じ込めへの期待から小売やサービスなどの内需業種の改善モメンタムが加速したほか、金利上昇期待から銀行が約3年振りのプラス圏に浮上し、保険もプラス幅が拡大した。

■ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所: ZEW

■ドイツ：ZEWの業種別景況感



出所: ZEW

■ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2020				2021											
	2Q	3Q	4Q	1Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
ZEW景況感（先行き）	47.5	69.4	50.0	69.9	59.3	71.5	77.4	56.1	39.0	55.0	61.8	71.2	76.6	70.7	84.4	
現状指数	-89.4	-76.1	-63.4	-64.9	-80.9	-81.3	-66.2	-59.5	-64.3	-66.5	-66.4	-67.2	-61.0	-48.8	-40.1	
Ifo景況感（総合）	80.9	91.6	91.9	93.2	90.0	91.9	92.9	92.5	91.0	92.2	90.3	92.8	96.6	96.8	-	
現状指数	79.9	87.3	90.6	91.0	84.6	88.0	89.3	90.4	90.1	91.4	89.2	90.7	93.1	94.1	-	
先行き指数	82.0	96.1	93.2	95.5	95.7	96.0	96.6	94.6	91.9	93.1	91.3	94.9	100.3	99.5	-	
PMI製造業指数	38.8	53.2	58.1	61.5	51.0	52.2	56.4	58.2	57.8	58.3	57.1	60.7	66.6	66.2	-	
サービス業指数	32.0	52.9	47.5	48.0	55.6	52.5	50.6	49.5	46.0	47.0	46.7	45.7	51.5	49.9	-	

出所: ZEW、Ifo、IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

